

後援：印西市

そこに困った人あれば、笑顔になれる場をつくる。

悩む人あれば、思いをひとつに共に汗を流す。

支えたいと思っていたら、いつの間にか支えられていた。

「ひとり一人の願い」をカタチにする新しい働き方!?

地域の底から、社会をつくる



印西市上映会

2月15日(土)

13:00~上映

上映後パネルディスカッションあり

東京基督教大学

チャペル



厚生労働省推薦映画

ワーカーズ Workers 被災地に起つ

監督：森康行 ナレーター：山根基世

(後援) 岩手県大槌町 宮城県亶理町 日本協同組合連携機構 国際協同組合年記念協同組合全国協議会 労働者福祉中央協議会 全国農業協同組合中央会 日本生活協同組合連合会 日本医療福祉生活協同組合連合会 全国労働全庫協会 全国労働者共済生活協同組合連合会 全国森林組合連合会 全国漁業協同組合連合会 全国大学生生活協同組合連合会 日本コープ共済生活協同組合連合会 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン バルシステム生活協同組合連合会 生活協同組合 コープみらい 城南信用金庫 日本協同組合学会 SDGs市民社会ネットワーク きょうざれん 共同連 東京中小企業家同友会

(協賛) 日本高齢者生活協同組合連合会 協同総合研究所 日本フロンティア・ネットワーク

製作著作：日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団 配給：一般社団法人日本社会連帯機構 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会

2018年 | 89分 | HD | 16:9 | カラー | 日本 | ドキュメンタリー



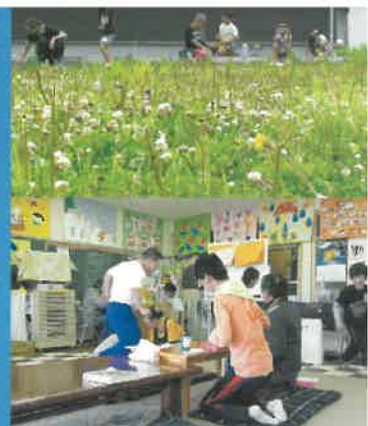
Workers SDGs

<http://workers2-movie.roukyou.gr.jp>

これは被災地、そして今のニホンを元気にする“まちづくり”の物語。

誰もが不安を抱えるいまだからこそ、見えてくるものがある。

高度経済成長の終焉から半世紀。急激な人口減少社会、ますます広がる貧困や格差は、否応なく私たちに様々な価値観の転換を求めています。そんななか起きた2011年3月の東日本大震災——それは、被災地のみならず、いまを生きる私たちに、改めて“これから、どう生きていくのか”という問いを投げかけました。本作は、これまで長きにわたり、競争、効率、自己責任…ではなく持続可能な社会への仕組みづくりを地域のひとともに構築・実践し続けてきたワーカーズコープ(協同労働の協同組合)による被災地での取り組みの様子を2016年2月から2017年12月までの22ヶ月間にわたって記録したものです。変わりゆく東京の下町での取り組みの様子を描いた第一弾「Workers」(2012)に続く映画第二弾となります。



ワーカーズ
Workers
被災地に起つ

明日をつくる、自分たちでつくる。

命残された者の使命として、現代を生きるひとりとして——

大槌・気仙沼・亶理・登米——「ひとり一人の願いと困った」からはじまるワーカーズコープの仕事おこしは、被災地でもおこなわれてきた。「放課後の子ども、障がい児を預かってくれる場を」、「お年寄りが安心して暮らせる街を」、「地元の資源を生かした地域の復興を」…と始めた取り組みは、次第に「誰もが集える地域の拠点へ」、「障がいのある人もない人も、自分らしく生きる場を」、「失業した人も、生きづらさを抱える人も、誰もが自分らしく働ける仕事を」、「地域の魅力を生かした村の復興へ」…と、“ひとり”から“みんな”につながっていく。ときに不器用に、ときに無謀に、ともに向き合い動くなかで、優しく育まれるコミュニティの姿。そこには、様々な課題を抱える日本のこれからを考える上で問い直されている「ともに生きる社会」の原点があった——



ワーカーズ
Workers
被災地に起つ

ワーカーズコープ
「協同労働の協同組合」
とは…?



働く人や市民がみんなで出資し、民主的に経営し、責任を分かちあい、人と地域に役立つ仕事をおこす協同組合。



発祥の地ヨーロッパでは、働き方のひとつとして定着している。一般企業とは違い、ひとり一人が労働者であると同時に経営にも参加する、一人一票の対等な立場でおこなう新しい働き方で、おもにまちづくり関連事業、介護、子育て、就労支援、公共施設の管理運営、食、農、林業などの一次産業を柱に、ボランティアではなく報酬の発生する事業を全国で展開している。

※いま日本には、ワーカーズコープ(労働者協同組合)を規定する法律がありません。現在、国会では超党派の協同組合振興研究議員連盟、与党協同労働法制化ワーキングチームによる法制定に向けた議論が行われています。



監督:森康行 ナレーター:山根基世

企画:田中羊子、横山哲平 プロデューサー:藤田徹、川邊晃司 プロデューサー東北担当:小澤真 撮影:野間健、古賀陽一 編集:古賀陽一 音楽:平野晶子 音楽プロデューサー:八重樫健二 録音:引間保二
制作著作:日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団 配給:一般社団法人 日本社会連帯機構、日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会
配給宣伝協力:ウッキー・プロダクション 2018年 | 89分 | HD | 16:9 | カラー | 日本 | ドキュメンタリー

天童荒太(作家)

笑い合い、涙を分かち合える世界を信じていい。
ずっとずっと願っていた、夢のかけらが、この映画の底には輝いている。

山内明美(宮城教育大学准教授)

これまでの労働のあり方の限界を見すえた時、「生の労働」がどんなかたちをしているのかを発見したひとびとがここにいる。丸い地球の水平線に 何かがきっと待っている 進め!

いま、ここに、ともに、生きる

映画公式HP <http://workers2-movie.roukyou.gr.jp> www.facebook.com/workers2M/ twitter.com/Workers2M

2月15日(土) 13:00~ 東京基督教大学
開場:12:30 チャペル

印西市内野
3-301-5
/駐車場有り

TCU
30th
ANNIVERSARY

上映後、パネルディスカッション14:45~16:15 主催:映画『Workers 被災地に起つ』印西上映実行委員会

~地域力、協同力で育むまちづくり、人づくり、仕事おこし~ 共催:東京基督教大学公共福祉研究センター

料金:一般前売り 1000円(当日1200円)/学生・障がい者手帳お持ちの方500円 事前にお電話・メールにてご予約の場合は前売料金となります

後援:印西市/印西市社会福祉協議会/印西市教育委員会/社会福祉法人六親会

予約・問合せ:NPO法人ワーカーズコープ東関東事業本部 電話043-308-0620 FAX043-308-0690 Mail: hgsntub@roukyou.gr.jp